

# 大人のチカラ

～子どもたちの未来のために～

2

細松英正 香川県教育長インタビュー①

## 家庭と地域が 役割果たして

**香** 川の未来を担う子どもたちを、心身ともに健やかに育てるために、家庭や地域の大人は何をすべきか。細松英正香川県教育長インタビューの2回目です。

**Q** 家庭とはどんな場所であるべきなのでしょう？

ある調査によると、日本人は「子どもを持てば、親は子どもの犠牲になるのはやむを得ない」と考える人が、調査国の中で二番目に少なかった

といます。犠牲というのは時間を取られるという意味合いだと思つのですが、この結果は非常に驚きであり、残念でした。確かに子どもは、親の都合に合わせて育つものではありません。しかしそれを「犠牲」と捉えるのではなく、子どもと

ともに過ごせる喜びと捉えてほしいと思つています。さまざま保育サービスが増えています。どんなにサービスが充実しようとも、保育園の先生が優しくても、親がしっかりと愛情を持って抱きしめるのには

**Q** 子どもの将来のため大人はどう対応すれば？

「乳児は肌を離すな、幼児は肌を離して手を離すな、少年は手を離して目を離すな、青年は目を離して心を離すな」という、「子育て四訓」と呼ばれる言葉があります。成長の過程に応じて大人がすべきことを説いているのです

が、昔の人が言うことには常に一理あると思います。家庭と地域の大人が、ただかわいがるのでは違う「家庭の役割」をきちんと果たしていかないと、人間性の基礎となるべき部分が身に付いていない大人が社会にあふれることになりかねません。

子どもは「家庭の教育で芽が生まれ、学校の教育で花が咲き、世間の教えで実を付けるもの」だと先人も説いています。家庭、学校、地域のどれ一つが欠けても、子どもたちを健やかに育てることはできません。大人が子どものた

めに一生懸命やっていたら、子どもはそれを感じ取り、たくましく生きることができるといでしょう。子育ての喜びを感じながら、家庭と地域の大人がそれぞれの役割を果たすことによって、香川の未来の財産である子どもたちを育てていきたいと思います。



協力 / 香川県教育委員会